

## 実践記録（小4～6・総合的な学習の時間）

### 1 ねらい

熱田を盛り上げるために、熱田朔日市を取材して情報を収集し、伝えたいことを整理・分析することで、思いを込めた情報を相手に伝えることができるようにする。

### 2 手立て

- 伝えたいことをはっきりさせるための手立て

集めた情報を整理し、書き込む内容を構成するための「バズるシート」を活用する。【資料1】

SNSに書き込むという設定で、「写真」「コメント」「ハッシュタグ」の3点に絞って情報を整理させることで、伝えたいことをはっきりさせることができる。

- 相手に伝わる内容にするための手立て  
作成した「バズるシート」を共有フォルダに保存し、互いに見ることで自他の内容を比較させる。また、友だちの「バズるシート」を見て、相手が一番伝えたいと感じたことを赤の欄に、アドバイス（疑問を含む）を青の欄に書かせる。このようにすることで、伝えたいことが伝わっているかどうかを確認し、内容を改善することができる。

【資料1 「バズるシート」】

### 3 実践の様子

熱田朔日市での取材を基に、「バズるシート」を作成させた。A児は「唐揚げの味付けが美味しい」ということが伝わるように写真を選んでいった。また、「味付けは2つあります。」と、唐揚げの味付けについてコメントしたり、写真やコメントに関連したハッシュタグを付けたりしていた。

次に、互いに友達の「バズるシート」を見て、相手が一番伝えたいことは何かを考えさせた。「Aさんの伝えたいことは、からあげの味付けかな」と、A児の伝えたいことは何かを楽しみながら考える様子が見られた。また、「他の味はないのかな？」と、自分が知りたいことを書き込む様子も見られた。

最後に、友達からのアドバイスを基に、「コメント」の内容を改善させた。「（からあげの味は、）何味がありますか？」とアドバイスをもらったA児は、「2つの味付け」の後に（ゆず胡椒味、カレー味）とコメントを改善していた。【資料2】

【資料2 活動後のA児のバズるシート】

### 4 成果と課題

- 「バズるシート」を活用して、伝えたいことをはっきりさせて情報を整理したり、伝わっているかどうか分析したりすることで、相手に伝わる内容に改善させることができた。
- 客観的な内容だけが伝わるように実践を進めてきたが、人の感情に訴えかけるような、心情面の内容も表現できるようにすることも必要だと感じた。